



西浮通信

令和5年4月28日
NO. 391
北区立西浮間小学校
校長 小島 みつる



令和5年度 北区立西浮間小学校 学校経営方針

校長 小島 みつる

学校教育目標 **自ら育つ子**

これまでの新型コロナウイルス感染防止対策によって日常生活はもちろん学校生活も激変し、学びの場としての「学校」の存在価値が改めて問われたように思います。子供たちに学力を付けることは学校の命題ではありますが、学力向上だけが学校での学びではなく、多様な集団活動における多様な学びこそ、将来にわたって人と協働・協働し社会で活躍できる人を育てる事に繋がることを確信しました。

学校のあるべき姿をしっかりと見据え、西浮間小に学ぶ子どもたち一人一人が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるような力を育てていきたいと思えます。そのためには、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え判断し、行動していくことが何よりも大切です。また、既存の物事ではなく、その時点、状況でベストだと考える何かを創造することも重要です。本校では、学校教育目標を「自ら育つ子」とし、目標の具現化に向けて特に下記の5つの力を取り上げ、それらを高める取り組みを充実させてまいります。

児童の「なぜだろう?」「知りたい」「調べてみよう!」という知的好奇心と自ら学ぶ意欲を高められる、楽しく、分かる授業となるべく、日々の授業改善・充実を図ってまいります。今年度も、ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



「自ら育つ」ために育てたい力

- ・自主性 人に言われる前に、**やるべきこと**を自分でやる力
- ・想像力 実際には経験していない事柄や人の思いなどを推し量る力
- ・主体性（自己決定力） **何をすべきか**自分の意思や判断で行動する力
- ・創造力 今ここにはない新たなことを創り出す力
- ・協調性（よりよい仲間づくり） 互いに高め合い、目標や目的に向かって仲間と助け合う力



令和5年度の重点（育てる子供の姿）

「主体性と創造力」の育成

- ◎自分から考え、考えたことを生かし、行動できる子
- ◎見通しを持って物事に主体的・協働的に取り組む子
- ◎自分のため、人のため、みんなのために頑張れる子
- ◎気持ちよいあいさつと、適切な言葉遣いができる子



そのために次の4点から教育活動を充実させていきます。

いじめを見逃さない・許さない学校 ～「いじめをしない・させない・ゆるさない」の徹底～
 確かな学力の向上 ～生涯にわたって生きてはたらく知性の基礎を育てる～
 豊かな人間力の育成 ～仲間と心を通わせ力を合わせて、よりよく生きる力を育てる～
 健全な体力と気力の育成 ～あきらめず、投げ出さず、頑張りぬく活力のある人間を育てる～

※詳細はホームページをご覧ください。